



木刈中タイムズ

No. 1

心身ともにたくましく 自ら学び 共に生きる生徒
—笑顔・感動、はつらつ木刈—



新年度を迎えて

印西市立木刈中学校長 泉水 真由美

1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
そして、2・3年生の皆さん、進級おめでとうございます。
令和7年度がスタートしました。

1年生は、これから始まる中学校生活に期待と不安を抱えていると思います。中学校の生活に早く慣れ、様々なことに積極的にチャレンジし、この木刈中学校で皆さんの力をさらに伸ばしてください。2年生はクラス替えがあり、これまでとはまた違う雰囲気の中での生活になります。新たな出会いがあり、この出会いを大切に、人の輪を広げ、新たな学級創りをしてください。また、先輩と呼ばれる立場にもなります。1年生に皆さんが優しく教え、よきお手本となってください。3年生は、木刈中学校の中心となり全校を牽引していく立場となります。これまでのよき伝統を引き継ぐとともに、改善すべきところは見直しを図り、よりよい木刈中学校を創ってほしいと思います。

さて、年度の初めですので、木刈中学校の学校教育目標について確認しておきます。

『心身ともにたくましく 自ら学び 共に生きる生徒 —笑顔・感動、はつらつ木刈—』

『心身ともにたくましく』とは、心も体も健康で自分の意思をきちんと持ち、自分自身にしっかりと向き合う力があることです。心身の健康に気をつけながらも自分自身と向き合い、さらに周りへ発信していく力も培ってほしいと思います。

そして『自ら学び』に関してですが、教科の授業を通して、学び深めていくことはもちろんですが、様々な体験を通しての学びも大切です。知識を得るとともに将来に向かって生きる力も身につけてください。

最後に『共に生きる』についてです。「思いやりの共同体」をめざし、仲間の大切さを実感しながら、互いに切磋琢磨して学校生活をおくることを目指してください。

ここで、「思いやりの共同体」という言葉がでてきましたが、これについて触れておきます。学校生活で基本となるのは学級です。自分の学級によさを感じ、他の学級に対して誇れるものを創り、学年が変わるとき、また卒業の時に「この学級でよかった」という気持ちが生まれる集団のことです。自分の学級の仲間の喜びを自分のことのように喜べる集団であってほしいと思います。

そして、副題にある、『笑顔・感動、はつらつ木刈』も意識しながら、今、この時を大切にして、一度しかない中学校生活を充実したものにしてください。

保護者の皆様には、いつも本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。中学校時代は、心身ともに大きく成長する時期であるとともに、多感な時期でもあります。様々なことに思い悩んだりもすると思います。我々教職員も生徒の気持ちに寄り添い、指導をしてまいります。保護者の皆様の存在が子ども達にとっては、何者にも代えがたい大きなものです。学校や地域と協力し合い、子ども達の更なる成長のためお力添えいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【いじめ相談】

鈴木一成(教頭)・久保谷博(教頭)・菊池秀憲(生徒指導主事)・安西太一・川村渉・皆川匠
杉森弘美(養護教諭)・太田成美(養護教諭)

【セクハラ相談】

鈴木一成(教頭)・久保谷博(教頭)・岡本里美・賀集瑞穂・宇佐見陽子
杉森弘美(養護教諭)・太田成美(養護教諭)

新学期の抱負

2年生代表



新しい制服を身にまとい、緊張して木刈中に登校してきたあの日からあっという間の一年がたちました。2年生0学期と言われる1年生の3学期を過ごしてきて、2年生になる心の準備はできているでしょうか？

今日から2年生になり、クラス替えがあり、クラスメイトや担任も変わり、一気に環境が変わることに対して、これからの中学校生活を共にする新しい仲間と出会うことに期待が大きくなっているかと思います。しかし、これからどんどん難しくなっていく勉強や、新1年生が入ってきて「先輩」となること、そして新しい人間関係を築いていくことなど、不安な気持ちもあるかと思います。

私たちは木刈中生として一年間を過ごし、学級や学年で様々な行事を経験し、仲間と支えあうことができました。学年全体の団結力が増し、以前よりも自ら進んで行動する人が多くなったと感じています。具体的には授業前の着席や時間の意識の向上などです。

その一方で、学校生活や、授業中の私語、挨拶の意識など「慣れ」が出てしまい、「これくらいで良いだろう」という気持ちの緩みを感じます。

もうすぐ新1年生が入ってくると思います。お手本になれるよう、恥ずかしくない先輩としての行動を心がけていかなければいけません。部活動や行事でも今までは自分のことだけで精一杯だったと思いますが、これからは先輩として後輩にも教えたり周りを見て気を遣ったりできるようになっていきましょう。また、中堅学年として3年生を支えられるような存在にならなければなりません。秋以降は2年生が、学校の中心として活動します。それまでに卒業した先輩や、3年生のように頼られる存在になれるよう努力していきましょう。

今まで以上に忙しくなる2年生。日々やるべきことを後回しにせず、木刈中の四大目標「笑顔で挨拶」「活かそう時間」「響け歌声」「心で清掃」を常に意識して、仲間と協力し合い、一生に一度しか体験できない木刈中学校での2年生を楽しみ、成長していきましょう！

3年生代表

春休みが終わり、新学期となりました。いよいよ私たちは3年生となり、最上級生となります。勉強でも、部活でも、学校生活のあらゆる場面で後輩のお手本とならなければいけません。私たちが最上級生として求められるもの、それは、修了式の目標で出た「一人ひとりが最高学年として、自覚を持った生活を送れるようにする。」ということです。中には、最高学年になったけれど、いまいち何をすればいいのかわからない…という人もいるかと思います。

まずはしっかりと最高学年になったという自覚を持ちましょう。自覚を持つことで、物事一つひとつに対する姿勢が変わってくるはずです。そして、特に生活の中で意識してほしいことは、日々の過ごし方です。ルールやマナーを守るのはもちろんですが、授業中、休み時間問わず、相手のことを考えて生活してほしいです。授業中は先生方の話や、発表している生徒の話をしっかりと聞く。休み時間は友達への言葉遣いは荒くなっていないか、相手を傷つけたりしていないかなどに気を付けなければいけません。つまり、「3年生としてのふさわしい姿とは何か」と考える必要があるということです。ふさわしい姿とは、自分のことだけでなく、相手のことも考えて生活する。ということではないでしょうか。1年生のころは初めてのことばかりで、自分のことで精一杯となり、他人への気遣いができていないことがあったかもしれません。ですが、2年生を経て3年生になり、学校生活に余裕が出てきたからこそ、他人への気遣いに、より意識を向けることが出来ると思います。同学年だけでなく、後輩への気遣いも必要です。部活動だけでなく、日々の学校生活の中でも困っている人がいたら積極的に声をかけていきましょう。先輩という肩書きだけでなく、態度で示すことこそが大事だと思います。

3年生はあらゆる場面で学校の顔となり、お手本となります。最上級生の名に恥じないようにするために、まずは一人ひとりの普段の生活態度や意識から変えていけるようにしましょう。そして、個々としても、集団としても、レベルアップしていける。そんな一年間にしていけるようにしましょう。



入学式より

歓迎の言葉

温かな春の日差しも感じられ、美しい花々に彩られる季節となりました。新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。在校生一同、今日という日を心待ちにしていました。

今日、まだ着慣れない制服に身を包みながら木刈中学校の校門をくぐった1年生の皆さん。新たな仲間との出会いに心を膨らませると同時に、環境の変化に気持ちが追いつかず、不安で胸がいっぱいになっている人もたくさんいるのではないかと思います。しかし、安心してください。皆さんの周りには、優しい先生方や頼れる先輩がいます。そして何より、これからの学校生活を共にする仲間がたくさんいます。今日ここから始まる中学校生活の1ページ目を素敵な仲間との思い出でいっぱいにしてください。

木刈中学校の大きな魅力の一つが学校行事です。仲間との絆を結ぶ秋陽祭合唱コンクール。交流会では先輩の歌声に感銘を受け、より一層学級が一丸となって歌練習に励み、本番当日ではホールにあふれるほどの美しい歌声を響かせます。そして、全校が赤、白、青の3色に分かれ、それぞれが輝く体育祭。絶対に負けないという気持ちを込めた大迫力な声援とともに、各色、各クラスが優勝を狙って競い合い、仲間との絆を強く深いものとしします。

また、学校行事以外では委員会活動や部活動も活発に行われています。委員会活動では、「笑顔で挨拶」「響け歌声」「活かそう時間」「心で清掃」という、木刈中学校の四大目標を基に木刈中学校をより良くしていくための活動が行われています。在校生一同、それぞれの委員会の役割に責任を持ちながら木刈中学校をさらに良くするために日々活動しています。また、部活動では先輩や後輩との関係を大切にしながら、各部活動で決められた目標に向かって勇往邁進します。ときには辛く苦しいこともあります。仲間や顧問の先生方に支えられながら日々の練習に励んでいます。木刈中学校には全部で十六個の部活動があるので、それぞれの部活動の特色や魅力をよく見て、自分に合った部活動を見つけてください。

中学校での生活はわずか3年しかありません。「3年」という限られた時間の中での勉強や部活、仲間との生活の日々は一日一日がとても大切なものになっていくと思います。困ったときには私達先輩に相談してください。皆さんと同じ経験をしてきた先輩だからこそ、優しく手を差し伸べてくれるはずです。また、楽しい思い出、嬉しい思い出、そして悔しい思い出も、たくさん作ってください。それらはきっとみなさんにとって一生の思い出となるはずです。これからの三年間、互いに助け合い、仲間とともに成長していきましょう。

最後になりますが、新入生の皆さんの学校生活が、光り輝く素晴らしい日々となることを心より願い、歓迎の言葉といたします。

誓いの言葉

春の花が咲き始め、街並みが彩り豊かになったこの良き日に、私たち264名は無事に入学式を迎えることができました。

本日は、素晴らしい式を開いてくださり、ありがとうございます。

これから始まる中学校生活での生活がどのようなものになるか、私たちは今、不安と期待でいっぱいです。中学校での三年間では、小学校で得た知識や経験を活かしつつ、新たに様々なことをたくさん吸収して、成長していきたいと考えています。

中学校生活をより良いものにするためには、私は3つのことを大切にしたいと思います。

1つ、学びの時間を大切にします。難しくなる勉強で困らないよう、自発的に学習します。また、スポーツや課外活動を通じ、自分のやるべきことを考え学んでいきます。

2つ、間違いを認める素直な気持ちを大切にします。分からないことがあったときはよく考え、自分で答えを出す努力をします。しかし、その答えが間違っていたときは、間違いを認める素直な気持ちを持ちます。

3つ、周囲の人と自分の心を大切にします。相手を傷つけない言葉遣いや態度を心がけます。周囲と自分の違いに悩むことがあったとしても、自分を否定せず、改善を考えお互いを常に認めるようにします。

これら3つのことを忘れずに、より自分が成長できるよう努力していきたいと思います。私たちはまだ出会ったばかりで、どんなクラスになるだろう、どんな友達ができるだろうと、少し緊張する気持ちがあります。中学校生活は、初めてのことや慣れないことばかりです。ですが、その緊張や不安は、ここにいる新入生みんな同じだと思います。

友人として、時にはライバルとして、三年間同じ時を過ごす最高の仲間になれると信じています。

まだまだ頼りない私たちですが、先生方、先輩方、友達、家族の力を借りながら中学校三年間を精一杯大切に過ごすことを誓います。

